

COMPASS 発達支援センター古賀
事業所における自己評価結果(公表)

公表日: 令和8年3月30日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		訪問施設と打ち合わせを行い、利用児童の事業所での様子も鑑み、訪問先のカリキュラムに応じた教材を使用予定としております		
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1	国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、訪問支援員が1人以上配置と定められております。COMPASSでは資格や経験等を考慮して訪問支援員を配置しております。	国の基準は満たしておりますが、利用希望児童数に見合った職員数の配置を計画してまいります。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		訪問支援での児童の様子を事業所の職員に共有し、今後の訪問時の療育方針や通所時の療育内容などの検討をおこなっております。		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		今回初めての評価表となりますが、保護者様の意見をこれからの訪問支援に活かしてまいります。		
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		開始したばかりのサービスではありますが、訪問のタイミングや頻度など職員の意見を募ってまいります。		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2		月に一度の法人内研修に、事業所管理者、児童発達支援管理者、訪問支援員が参加して、情報共有やケースワークを実施しております。		
適切な支援の提供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		保護者様からのアセスメント、訪問先の担当職員からの聞き取り、通所事業所からの情報をもとに個別支援計画の作成をおこなっております。		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		個別支援会議において利用児童の訪問先での課題について情報共有を行い、ニーズや課題を多角的に捉えて計画立案をおこなっております。		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問先の担当者からもアセスメントとして聞き取りを実施し、計画立案をおこなっております。		
	11 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		職員間で共通認識の元、支援計画に沿った支援をおこなっております。		
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		法人で統一されたアセスメントシートを使用しております。		
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		利用児童一人ひとりの状況やニーズ、保護者様からのご意向を踏まえて、ガイドラインに沿った支援をおこなっております。		
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		職員間で共通認識の元、支援計画に沿った支援をおこなっております。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		訪問前に支援員と児童発達利用児童とその訪問先のカリキュラム確認や支援内容・支援方針、連絡事項を確認しております。		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		訪問後は支援員から訪問先での利用児童の様子や課題、訪問先からのお知らせなどの報告を受け、報告書の内容確認などをおこなっております。		
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問支援開始前の訪問先との打ち合わせの際に支援までの流れや方法まで訪問先のご都合などをお聞きし、それに従い支援の実施をおこなっております。		
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		支援に実施とともに支援内容や利用児童の様子などの記録をおこない、次回以降の支援に活かしております。		
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		少なくとも半年に一度のモニタリングを必ずおこない、次の個別支援計画立案のために目標に対する達成度や今後の課題を明確にしております。		
	関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		児童発達支援管理責任者が基本的に参加しております。訪問支援員からも情報を集めて参画しております。	
		21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		関係機関と情報共有をおこないながら、連携した支援をおこなっております。	
		22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		訪問支援利用開始後に進学などおこなったことはまだありません。	利用児童の進学などの際には、進学先との情報共有をはかり、継続してスムーズな支援をおこなえるようにしてまいります。
		23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		新しく開始したサービスでもあることから、なるべく多くのところからの助言を受けるようにしております。	
		24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		事業所として参加をおこない、地域の事業所や教育機関との情報共有をおこなっております。	
		25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		学校・ご家庭の様子との情報共有をおこない、保護者様との共通理解に努め、支援の方向性を検討してまいります。	
		26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		必要に応じてご家庭での療育方法や、家族支援を通じて支援に関する助言をおこなっております。	
保護者等への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		利用契約時にご質問にお答えしながら説明をおこなっております。		
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		利用開始前の訪問先との打ち合わせにおいて、保護者様のご意向の説明と併せて法人で作成した資料にて説明をおこなっております。		
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		情報収集を初回面談時と契約時、および半年に一度の個別支援計画見直し時に段階的におこない、保護者様や児童の意向や最優先されるニーズを踏まえて課題を明確にした上で計画を立案しております。		
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		内容のご確認をいただいた個別支援計画の内容説明を、お渡し時にあらためておこなっております。		
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		訪問支援の報告の際にご相談を受けたり、ご希望に応じて事業所相談の場を設け、助言をおこなっております。		
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		現在のところ実施しておりません。	開催日時や場所等保護者様のご意向をまとめて開催の計画を立案してまいります。	
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		訪問支援の報告の際にご相談を受けたり、ご希望に応じて事業所相談の場を設け、助言をおこなっております。		
	34 定期的に通信等を発行するか、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		季節ごとの「COMPASS だより」や公式Web サイトでブログを定期的に更新し、事業所内や療育の様子を発信しております。		
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		連絡事項や利用予定カレンダー等、ウェブ上のツールで相互確認できるようにしております。訪問のご報告時にお伝えすることがある場合にも、簡潔明瞭に伝えることを心がけております。		
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問支援終了後に担当の職員との時間を設け、ご質問などをお受けした際はご回答させていただきます。		
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		利用児童について指導・支援方針の統一化を図るために、必要に応じてカンファレンスをおこなっております。		
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		毎回の訪問後は、訪問支援員が保護者様へ訪問の様子や課題など口頭および書面にて報告させていただいております。		
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報については鍵付きの書庫にて保管しており、個人情報の紛失や漏洩がないよう注意しております。		
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		訪問支援終了後に担当の職員との時間を設け、ご質問などをお受けした際はご回答させていただきます。		
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		事業所内に各種マニュアルを提示し、保護者様・職員共に周知するとともに事業所内研修で共通認識を図っております。		
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		訪問先での非常時の避難経路などを確認の上、支援をおこなっております。		
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	2		該当する事例についてはしっかりと記録を残す事により、その概況を周知して事故を未然に防ぐことが出来るよう努めております。		
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		職員会議内等で虐待防止の必要性の共通認識ができるよう努めております。また法人内で虐待防止委員会を設置し、必要な研修内容や会議内容を周知徹底しております。		
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		現在身体拘束が必要な児童のご利用はありませんが、利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護する為やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得るようにしております。これらの条件に合えば、訪問支援中は訪問先に従います。		

